

富山大学 国際機構「日本語プログラム」上級クラス

授業科目名	日本文化C2
担当教員	水田 佳歩 (MIZUTA, Kaho)
開講学期曜限	後期 (秋期)・火曜日 2 時限
対象	〔総合日本語コース〕 日本語日本文化研修留学生、協定校からの交換留学生 〔日本語課外補講〕 全学の外国人留学生、外国人研究者
単位数	単位は出ません。総合日本語コースでは国際機構長名で履修証明書（成績記載）を発行します。
授業のねらい	留学生として、日本社会について日本語でリサーチし、分析的に観察する。そこから得たものを日本語で情報発信する力を養成する。日本語で「調べ・考え・伝える」という 3 つの活動を展開することにより、文化、そして日本文化に対する理解を深める。 その際、学生同士が、双方向に発信受信する過程を通して、協働して課題達成を目指す。
達成目標	1 つのテーマをなるべく多角的に捉え、日本社会に対してすでに持っている知識や、自文化への固定的な見方を洗い直す。日本語の訓練としては、自身の述べたいことをまとめた談話として構成する力を養う。
授業計画 (授業の形式、 スケジュール等)	1 週目 オリエンテーション 自己紹介（日本について興味のあること） 2～3 週目 文化とは 4～6 週目 「グループ化」は人間の本能なのか 7～9 週目 「多文化共生」は寛容な社会を作るのか 10～12 週目 テクノロジーは思想や文化とは無関係に発展するのか 13～14 週目 自分の日本についての調査 15 週目 発表とまとめ ※クラス構成および進捗状況によってスケジュール変更の可能性があります
授業時間外学修 (事前・事後学修)	事前学修：指定文章を予習すること 事後学修：クラスで学習した内容を復習し、課題に取り組むこと
キーワード	中上級日本語 現代日本事情 ピア・ラーニング
受講上の注意	
教科書・参考書等	使用しません。毎回プリント等を配布します。
成績評価の方法	授業への参加度:40%、レポート:30%、発表:30% (欠席が多い場合は評価対象外とします。) *日本語課外補講は成績評価を行いません。出席回数、試験の点数を記録します。
関連科目	
備考	